



# プロジェクトメンバー・オブザーバによる 取組状況と情報提供

---

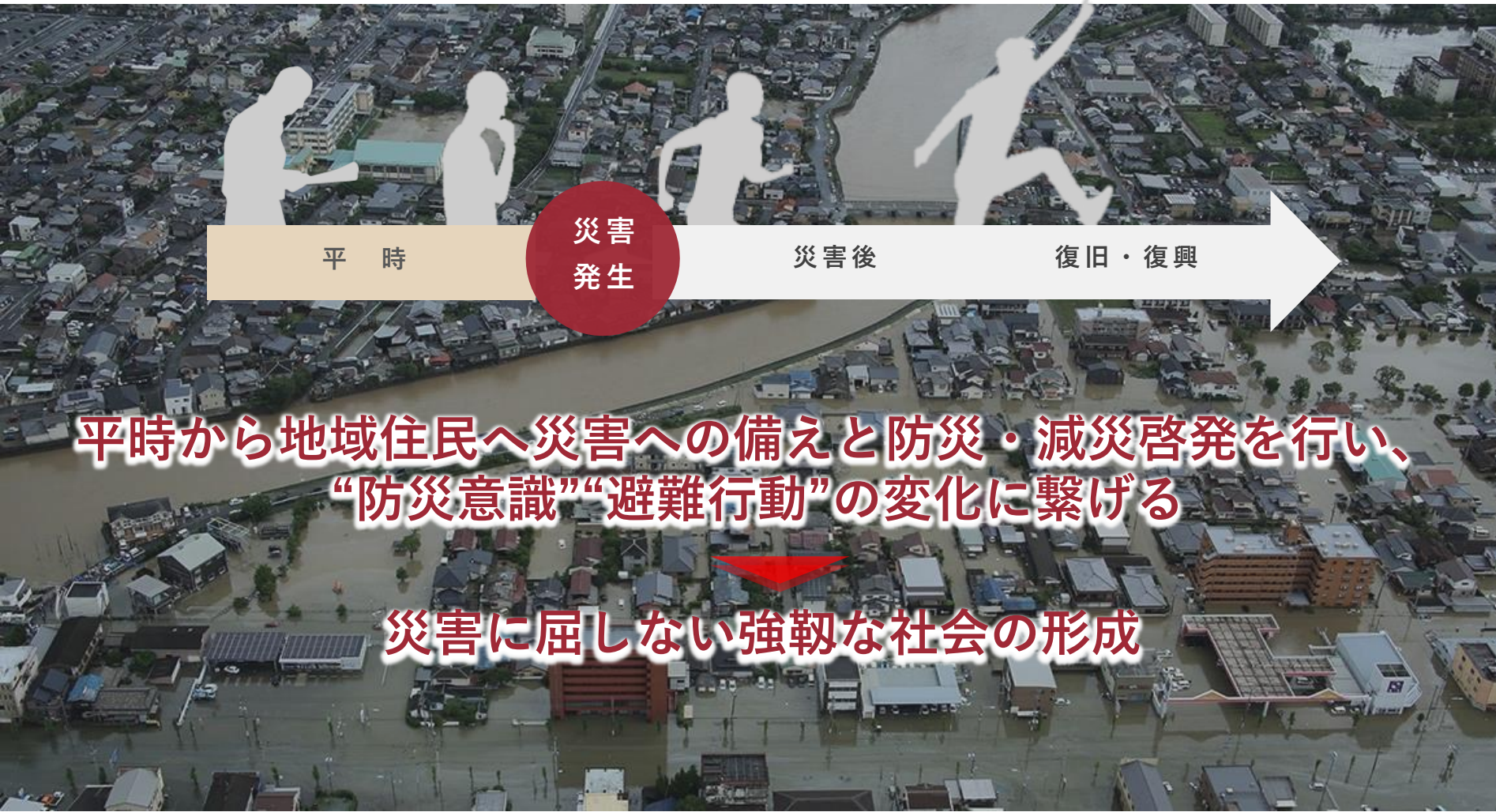
情報共有プロジェクト全体会議  
全国地方新聞社連合会 説明資料

2022年7月11日



全国地方新聞社連合会は、47都道府県の地方新聞社がひとつになり、それぞれの地域実情に沿った推進活動および広報活動を展開する。地域での高い情報発信力と伝達力を有する地方新聞社は、地域(生活者)に密着した身近で影響力あるメディアである。

## 住民自らの行動に結びつけるための地方新聞メディアの役割



平時から地域住民へ災害への備えと防災・減災啓発を行い、“防災意識”“避難行動”の変化に繋げる

災害に屈しない強靱な社会の形成



自然災害伝承碑  
先人が残した思い

3 水害碑 1930年(昭和5年)建立

洪水  
土石流

広島市東区温品七丁目  
(府中大川沿い、八幡橋西詰)

災害の発生年月日	1926年9月11日 (大正15年)
死者(人)	4
建物被害(戸・棟)	115

集中豪雨により発生した洪水・土石流による被災の様子や被害状況が漢文で記されている。



3

## 関東地方整備局 X 地方新聞社連合会（7社会）

### ●「救援する道路」の実現

- ・首都直下地震や南海トラフ地震等の発生が危惧されている
- ・ハード面での災害発生時の「被災する道路」から「救援する道路」への転換が求められている

### ●「自然災害伝承碑」からのメッセージ

- ・過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄（災害の様相や被害の状況など）が記載されている石碑やモニュメント。
- ・「自然災害伝承碑」は決して過去の災害を伝承するだけに留まらず、現代を生きる我々への貴重なメッセージと捉える

## インタビュー

### ●川崎茂信氏

- ・元国土地理院長。建設省入省後、中国地方整備局長。「自然災害伝承碑」地図化を通して教訓伝承を支援。2019年に退官。

### ●磯田道史氏

- ・歴史学者。国際日本文化研究センター教授。天災から日本史を読みなおす。「先人に学ぶ防災」など著書多数。



### 関東7社会

茨城/茨城新聞社

栃木/下野新聞社

群馬/上毛新聞社

埼玉/埼玉新聞社

千葉/千葉日報社

東京/東京新聞

神奈川/神奈川新聞社

山梨/山梨日日新聞社



**国土交通省関東地方整備局**では、東日本大震災に被災した地域の防災対策プログラムを掲載しています。詳細はこちらから。



道路の5か年対策プログラム  
https://www.kanto.jtrc.or.jp/road/road\_000003232014

## 「自然災害伝承碑」からのメッセージ 過去の経験や教訓を活かし「救援する道路」の実現へ。

世界的に頻発・激甚化する自然災害は、もはや「気候変動」ではなく「気候危機」と言われている。我が国では近い将来、首都直下地震や南海トラフ地震の襲来も懸念される。新型コロナウイルス感染症も、2年以上続く世界的災害となっている。このような大きな危機に直面する現代において、脅威を乗り越え、人々の生命・財産を守るために社会基盤としての道路に求められる役割とは。全国、歴史的考察から見る災害や備えの大切さなどについて、歴史学者の磯田道史氏と元国土地理院長の川崎茂信氏のお二人に話を伺った。

**過去の災害情報を掲載。貴重な教訓などを発信する。国土情報化への主要施策**

国土交通省関東地方整備局は、東日本大震災に被災した地域の防災対策プログラムを掲載しています。詳細はこちらから。

国土交通省関東地方整備局は、東日本大震災に被災した地域の防災対策プログラムを掲載しています。詳細はこちらから。

**日本の歴史の流れに大きな影響を与えてきた。さまざまな自然災害**

日本は自然災害の多い国です。歴史的に、自然災害は日本の歴史に大きな影響を与えてきました。近年は、気候変動による自然災害の頻発・激甚化が懸念されています。過去の経験や教訓を活かし、防災対策を進め、災害に強い社会基盤を構築する必要があります。

**命がけで学び伝えてきた。先人の知恵や教訓に、耳を澄まし目を凝らす。**

歴史学者の磯田道史氏は、過去の災害から学ぶべき教訓を多く挙げています。先人の知恵や教訓に、耳を澄まし目を凝らすことが、防災対策に不可欠です。

**時代に合ったツール開発や、社会インフラの強化で、将来の防災を見据える。**

元国土地理院長の川崎茂信氏は、時代に応じたツール開発や、社会インフラの強化が、将来の防災に重要です。最新の技術や知識を活用し、防災対策を進め、災害に強い社会基盤を構築する必要があります。

10段  
各社  
共通

### 【記事内容】

- ・10段  
元国土地理院長の川崎氏と歴史番組でお馴染みの磯田先生による、「読んで、知り、読んで、学ぶ」広告出稿
- ・5段  
地元に関連した  
→「救援する道路」と「自然災害伝承碑」の紹介

### 【QRコード】

更に詳細の情報にアクセスしたい場合にQRコード設置

- ・最上部: 道路の5か年対策プログラムのサイトに遷移
- ・中段部: (近隣の)自然災害伝承碑を探することができるサイトに遷移

5段  
各社  
差し替え

## 茨城県の安全安心を支え救援する道路の構築に向けて

～「東日本大震災」を教訓に 住民の命を守る防災事業の推進～

**被災の記憶後世に「自然災害伝承碑」**

国土地理院に登録されている市内の自然災害伝承碑は9市町32郡。洪水や大震災の被害の様子や教訓などが刻まれる。北茨城市には死者5人、行方不明1人が犠牲となった東日本大震災に絡む歴史がある。地区に津波の痕を記している波をかたどった記念碑、町内平野部に復興の願いを込めたアンコウの形をした石碑が設置される。



**緊急輸送道路における橋梁の耐震補強 防災拠点としての道の駅整備**

東日本大震災以降、災害時に車両や物資輸送などを支える緊急輸送道路のために、橋梁の耐震補強工事が重点的に行われている。耐震性能を向上させるための鉄筋コンクリートによる橋脚新築や、橋の落下を防ぐための橋脚の耐震補強などが実施されている。



国土交通省 関東地方整備局

常陸河川国道事務所  
TEL: 029-240-4001(内)

道路の5か年対策プログラム  
https://www.kanto.jtrc.or.jp/road/road\_000003232014

9910

国土交通省 関東地方整備局

常陸河川国道事務所  
TEL: 029-240-4001(内)

## 「自然災害伝承碑」(10段広告内容)

- 日本の歴史の流れに大きな影響を与えてきた、さまざまな自然災害。
  - ・日本の美しい国土は自然災害の多さと**表裏一体**。
  - ・天からは豪雨、地からは地震・噴火。
- 命がけで学び伝えてきた先人の知恵や教訓に、耳を澄まし、目を凝らす。
  - ・我々が災害から身を守るには、**先人の言い伝えや知恵**が思った以上に役立つ。
- 時代に合ったツール開発や社会インフラの強化で、将来の防災を見据える。
  - ・**ITなど現代の最先端技術と、先人が残してくれた防災情報**をドッキングさせ有効に活用すべき。

### 「自然災害伝承碑」TIPS

- ・全国で415市区町村で、**1,402**基が現状登録済。1県の平均約30基。
- ・平成30年7月豪雨で多くの犠牲者を出した地区では、水害を伝える石碑があったものの、「石碑があるのは知っていたが、関心を持って碑文を読んでいなかった。水害について深く考えたことはなかった」。(平成30年8月17日付け中国新聞より引用)という住民の声が聞かれるなど、これら自然災害伝承碑に遺された過去からの貴重なメッセージが十分に活かされているとは言えない。

## 「救援する道路」(5段広告内容)

- 緊急輸送道路における橋梁の耐震強化(茨城新聞)
  - ・県内で**緊急輸送道路**のために、橋梁の耐震補強工事を重点的に実施
- さいたま新都心へのアクセス性強化(埼玉新聞)
  - ・首都圏広域防災拠点のさいたま新都心へのアクセス強化
  - ・災害時における物資輸送の速達性向上や医療支援に期待
- 中部横断道 災害時に代替道路の役割を担う(山梨日日新聞)
  - ・中部横断道 山梨ー静岡間が開通。並行する国道52号で通行規制が発生した場合、**代替道路**としての役割を担う。



▲落橋防止装置を設置した国道50号の岡井高架橋(筑西市)



▲さいたま市西区宮前IC付近を撮影した航空写真(令和3年3月撮影)



▲静岡方面を望む下部温泉早川インターチェンジ(IC)

# 「地域防災コラボチャンネル」 取り組み状況について

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟

2022年7月11日



# 地域防災コラボチャンネルの概要

## ■プロジェクトの概要

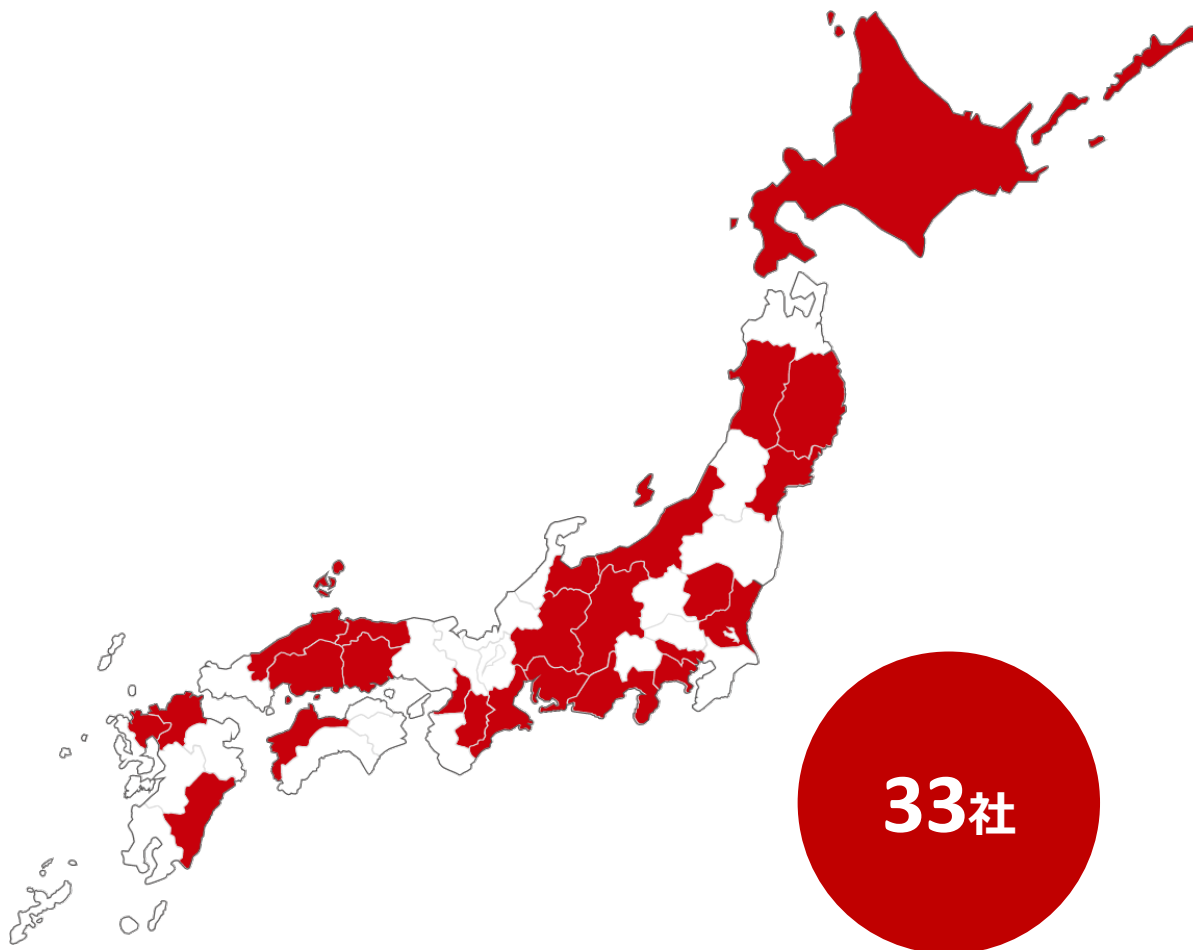
ケーブルテレビ事業者が有する地域密着性というメディア特性を活かして、より身近な地域の災害情報を住民に届け、的確な避難行動につなげる取り組み。

国土交通省の各整備局と地域のケーブルテレビ事業者が連携し、身近な地域の災害情報を提供する社会実験を実施。具体的には、国交省から提供いただく河川監視カメラ映像、河川・ダム水位情報等をTVのコミュニティチャンネル（データ放送含む）で放送するとともに、PCやスマホ向けのホームページ発信やコミュニティFM等との連携を行っている。



ケーブルテレビ放送例（上越ケーブルビジョン株式会社（新潟県上越市））

# 地域防災コラボチャンネル参加事業者について



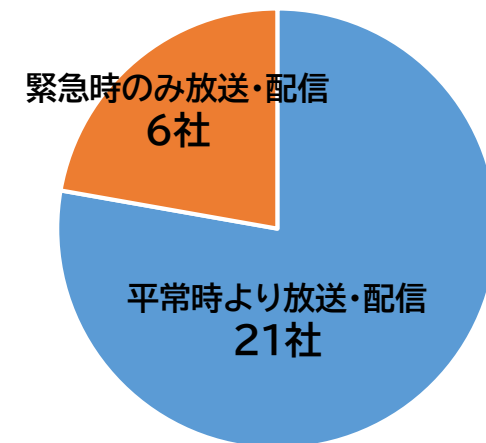
整備局	社名
北海道	株式会社ジェイコム札幌
	帯広シティーケーブル
	旭川ケーブルテレビ株式会社
東北	株式会社秋田ケーブルテレビ
	ニューデジタルケーブル株式会社
	仙台CATV株式会社
関東	株式会社JWAY
	ケーブルテレビ株式会社
	イツツ・コミュニケーションズ株式会社
	YOUテレビ株式会社
北陸	上越ケーブルビジョン株式会社
	株式会社エヌ・シー・ティ
	株式会社インフォメーション・ネットワーク・コミュニティ
	高岡ケーブルネットワーク株式会社
	株式会社ケーブルテレビ富山
中部	株式会社TOKAIケーブルネットワーク
	シーシーエヌ株式会社
	株式会社大垣ケーブルテレビ
	株式会社キャッチネットワーク
近畿	株式会社ZTV
	株式会社ベイ・コミュニケーションズ
	株式会社ジェイコムウエスト
	近鉄ケーブルネットワーク株式会社
中国	株式会社ちゅびCOM
	岡山ネットワーク株式会社
	株式会社中海テレビ放送
	石見ケーブルビジョン株式会社
四国	株式会社ケーブルネットワーク西瀬戸
	西予CATV株式会社
九州	株式会社ケーブルワン
	伊万里ケーブルテレビジョン株式会社
	株式会社ケーブルメディアワイワイ
	株式会社ジェイコム九州

## 2021年度 地域防災コラボチャンネルの取り組み状況①

■ アンケート結果 (対象：回答33社のうち実施中27社)

### Q.放送・配信状況

平常時より放送・配信：21社 緊急時のみ放送・配信：6社



### Q.平常時の放送・配信の内容(複数回答)

河川映像情報：21社 河川水位情報：9社

ハザードマップ：1社 その他(災害対策番組、避難所・避難経路情報)：3社

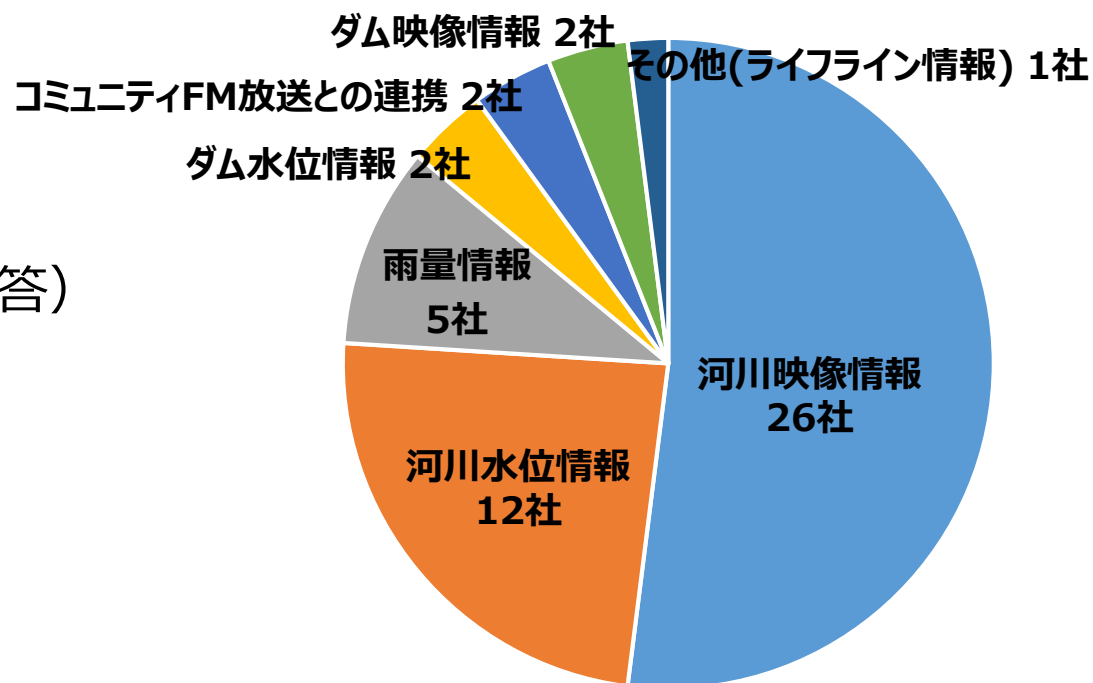
### Q.放送・配信対象の洪水の有無

対象洪水なし：5社 大雨警報：4社 大雨特別警報：2社

氾濫危険水位超過：2社 その他(断水)：1社 (未回答：7社)

## 2021年度 地域防災コラボチャンネルの取り組み状況②

Q.放送・配信の内容(複数回答)



Q.放送・配信の内容<プロジェクト情報以外>(複数回答)

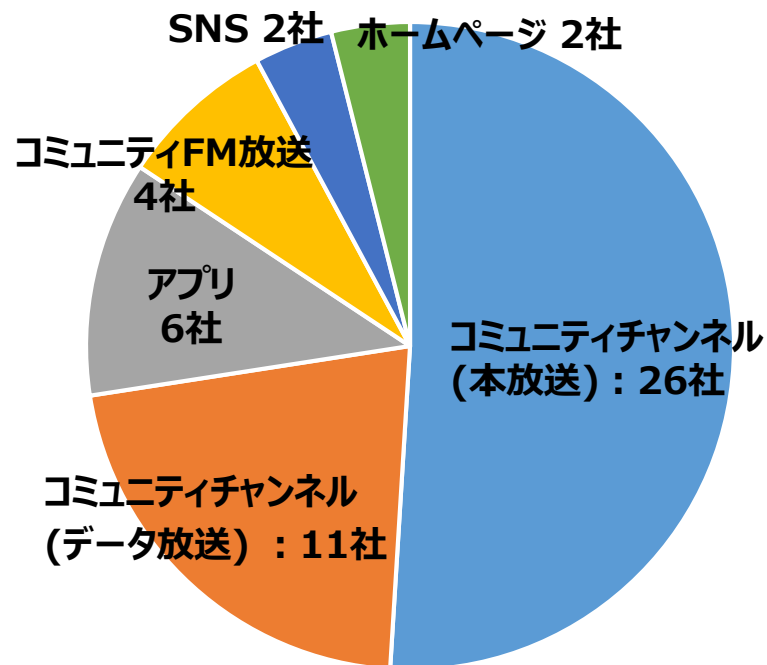
市町村からの避難情報：22社 市町村の防災情報：22社

都道府県の防災情報：8社 プロジェクト情報のみ：2社

その他(停電情報、公共交通機関運行情報、道路交通情報)：3社

## 2021年度 地域防災コラボチャンネルの取り組み状況③

### Q.放送・配信の媒体(複数回答)



### Q.放送中トラブルの有無

なし : **20社**

あり(カメラ故障、回線不良、仕様変更、メンテナンス中など) : **7社**

### Q.提供してほしい情報(自由回答)

道路交通情報(映像)、カメラのHD化、2級河川・3級河川の情報

危険予測情報、ライフライン復旧情報、地震情報、津波情報など

## 2021年度 地域防災コラボチャンネルの取り組み状況④

### Q.地域防災コラボチャンネルへの要望(自由回答)

全国の事例紹介、定期的な情報交換、河川カメラのメンテナンス・クリーニング、サイトのレイアウト変更やURL変更時の情報共有、番組への製作・出演協力、補助金等の情報共有など

### Q.視聴者の感想・反響(自由回答)

- ・水害常襲地帯でもあり、住民にとってなくてはならない情報のひとつになっています。
- ・ケーブルテレビの解約防止につながっています。
- ・2019年台風19号災害の際、河川カメラの映像を避難行動の参考にしたとの声を多くいただいた。
- ・大雪災害の時は「情報カメラで地域の降雪状況が確認できて助かる」と視聴者から反応があった。
- ・河川の映像を放送したら住民の人が避難行動にうつしてくれた。
- ・大雨や増水時は視聴数が大幅に増える傾向があります。
- ・YouTubeで配信してから1年半で当社公式チャンネルの登録数が1,800増加した。
- ・SNSなどで拡散してくれた視聴者が複数いた。
- ・河川カメラ放送は、市民のみならず、行政からも大変感謝されている。

# 取り組みと課題

日本放送協会 柴田健剛 2022/07/11



## 1. キャンペーンタイトル: 「暮らし」を追加

# 水害から命と暮らしを守る

命と暮らし “守る” : 防災から発災、復旧復興まで  
: NHKの宣言であり、呼びかけ

## 2. キャッチコピー/コンセプト:

みんなで助かるために  
いま、できることを

みんなで助かる : 地域との協働  
: 助ける・助けられるでなく、助かる状態をめざす

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/>





# みんなで助かるコール（「逃げなきゃコール」展開）

出演：なかやまきんに君  
（福岡県出身）



ねらい：デジタル情報アクセスが早い若者層10代～30代に、避難行動を促す防災の担い手になってもらう

パターンA ふるさとの 祖母 編（30秒）

パターンB 遠くにいる 友人 編（30秒）

## Q. 最初に避難するきっかけは？

周辺の環境変化	33.5%
人からの声かけ・近隣住民の避難	31.8%
避難勧告・指示等の発令	11.9%
その他	22.8%

平成30年7月豪雨に係る住民避難アンケート（NHK）

避難行動を促すには、**周囲の声かけ**が重要  
（2018年西日本豪雨・住民避難アンケートから）

# 防災ソング「こわがりヒーロー」

みんなのうた



テレビニュースで けいほうちゅう  
たいふう おおあめ ふりそうだ  
ゴーゴー ジャブジャブ なるってさ  
なのに ここまで こないよと  
み～んな ちっとも うごかない

こわいよ こわいよ わたしこわい！  
これが おおきな さいがいの  
はじまり なのかもしれないよ  
だったら こうかいしたくない  
わたしが みんなを まもるんだ！

「あるけるか そとをかくにん！」  
「あんぜんな ばしょにいこう！」  
「となりの おばあちゃんに こえ」 かけよう！」  
「いますぐ みんなで にげようー！」

わたしが こわがることで  
みんなの きもちが うごく  
おおくの いのちを すくうんだ  
こわがれ！こわがれ！こわがりヒーロー

大人は“正常性バイアス”  
にとらわれがち

「こわい」  
「早く逃げよう」という  
正しくこわがる  
素直な気持ち



避難のきっかけの  
3割は  
「周囲の声かけ」

# 「かわ知り」(首都圏局)

ねらい : 主要河川の「地域の具体的な防災情報」にこだわったコンテンツ  
今年度、国交省の協力も得てリーフレット・ポスターを作成



## 特徴①: 「具体名」にこだわる河川情報

- ・関東の9の「一級河川」を管内各局が取材。  
「流域の住民にターゲットを絞った企画」
- ・約3分の汎用Vを作成しHPの特設ページに、  
記事・動画を掲載。繰り返しQR誘導。
- ・各ローカルで運用可能。

## 特徴②: 緊急時にも活用

- ・9月の台風14号接近時、610で「荒川」、  
当日の特設ニュースで「鶴見川」のVを放送。  
当日、鶴見川は氾濫警戒情報が発表されていた。
- ・特設サイトと各記事に  
QR誘導



防災、減災報道はみなさまの受信料で支えられています。

**受信料一覧**

【放送受信料の対象】  
テレビ  
ワンセグ携帯テレビモニター  
ワンセグ携帯テレビ受音機  
テレビチューナー内蔵パソコン

放送局	基本料金	加入料	1ヶ月利用料	1ヶ月利用料
地上波	1,000円	4,200円	12,000円	24,100円
衛星放送	4,000円	4,600円	12,710円	24,700円
地上・衛星	1,000円	2,400円	7,010円	13,600円
地上・衛星	2,000円	7,300円	14,200円	

※地上波放送局は、NHK、NHK-BS、NHK-BS2、NHK-BS1、NHK-BSi、NHK-BS11、NHK-BS12、NHK-BS13、NHK-BS14、NHK-BS15、NHK-BS16、NHK-BS17、NHK-BS18、NHK-BS19、NHK-BS20、NHK-BS21、NHK-BS22、NHK-BS23、NHK-BS24、NHK-BS25、NHK-BS26、NHK-BS27、NHK-BS28、NHK-BS29、NHK-BS30、NHK-BS31、NHK-BS32、NHK-BS33、NHK-BS34、NHK-BS35、NHK-BS36、NHK-BS37、NHK-BS38、NHK-BS39、NHK-BS40、NHK-BS41、NHK-BS42、NHK-BS43、NHK-BS44、NHK-BS45、NHK-BS46、NHK-BS47、NHK-BS48、NHK-BS49、NHK-BS50、NHK-BS51、NHK-BS52、NHK-BS53、NHK-BS54、NHK-BS55、NHK-BS56、NHK-BS57、NHK-BS58、NHK-BS59、NHK-BS60、NHK-BS61、NHK-BS62、NHK-BS63、NHK-BS64、NHK-BS65、NHK-BS66、NHK-BS67、NHK-BS68、NHK-BS69、NHK-BS70、NHK-BS71、NHK-BS72、NHK-BS73、NHK-BS74、NHK-BS75、NHK-BS76、NHK-BS77、NHK-BS78、NHK-BS79、NHK-BS80、NHK-BS81、NHK-BS82、NHK-BS83、NHK-BS84、NHK-BS85、NHK-BS86、NHK-BS87、NHK-BS88、NHK-BS89、NHK-BS90、NHK-BS91、NHK-BS92、NHK-BS93、NHK-BS94、NHK-BS95、NHK-BS96、NHK-BS97、NHK-BS98、NHK-BS99、NHK-BS100

**高視聴率番組について**

**家庭割引**

一人暮らしを減らして家族が増えるなど、世帯構成が変化した場合は、受信料額を早急にお知らせください。

**団体一括割引**

事業用または自治体向けに受信料をまとめてお支払いいただく場合は、団体一括割引が適用されます。

**事業用割引**

事業用または自治体向けに受信料をまとめてお支払いいただく場合は、団体一括割引が適用されます。

**多世帯一括割引**

同一敷地内に複数の世帯がある場合は、多世帯一括割引が適用されます。

上記の各割引制度の詳細は、NHKホームページ <https://www.nhk.co.jp/about/> をご覧ください。

**NHK+**

いつでもどこでも、NHKの最新ニュースや防災情報をいつでもどこでも、NHK+で視聴いただけます。

0570-066-066  
0570-099-033

**NHK**

**かわ知り**  
あなたの町の防災ナビ

この情報はNHK基幹番組「かわ知り」に載っています

**命を守るための3つのポイント**

- 1 「調布橋」(青柳市)の水位を確認
- 2 「支流との合流部」に注意
- 3 都市部の「内水氾濫」に備える

**「暴れ川」の一面が 多摩川**

1974年9月

協力 国土交通省 関東地方整備局

**水害からあなたと大切な人を守る**



東京や神奈川県を流れる多摩川。たびたび水害を引き起こしてきた「暴れ川」の一面があります。2019年の台風第19号でも、流域の広い範囲で洪水が発生。川崎市青柳区では犠牲者も出ました。水害から命を守るために、どう備えたらいいのでしょうか。

**1 「調布橋」(青柳市)の水位を確認**

多摩川は傾斜が急な河川。上流で水位が上がると、短時間で下流の水位も上昇します。2019年の台風第19号の時、上流で大雨となり「調布橋」の水位がピークに達したあと、下流の大田区・田園調布にある観測所で水位がピークに達したのは、わずか1時間半後でした。

大田区にある「調布橋」の水位を確認してください。水位が上がっている時は、必ず下流で水位が上がると予想し、すぐに避難する準備をしてください。

**2 「支流との合流部」に注意**

多摩川の水位が上がると、支流からの水がせき止められ、氾濫につながる危険性があります。多摩川には、主なものだけでも10の支流が流れ込み、その周辺に多くの人が住んでいます。主な10の支流とは、秋川、早井川、谷地川、濁川、渡辺川、大塚川、三沢川、早瀬川、野川、それに海老川です。

**3 都市部の「内水氾濫」に備える**



「内水氾濫」は、河川からの洪水がなくても下水道などから川へ排水しにくいことで洪水が発生する現象。また、周辺で強い雨が降っていても、川の水位が低くなることで発生することもあります。川崎市中央区の武蔵小杉のタワーマンションの周辺も浸水し、住民の生活に大きな影響が出ました。

国土交通省「川の防災情報」 <https://www.river.go.jp> も参考に!

**NHK ニュース 防災**

防災にご活用ください!

**NHKニュース・防災アプリ**

データのダウンロードはこちら!

1 ハザードマップを掲載

2 河川情報・河川カメラ

3 3つの地域警報

アプリのダウンロードはこちら!

QRコード

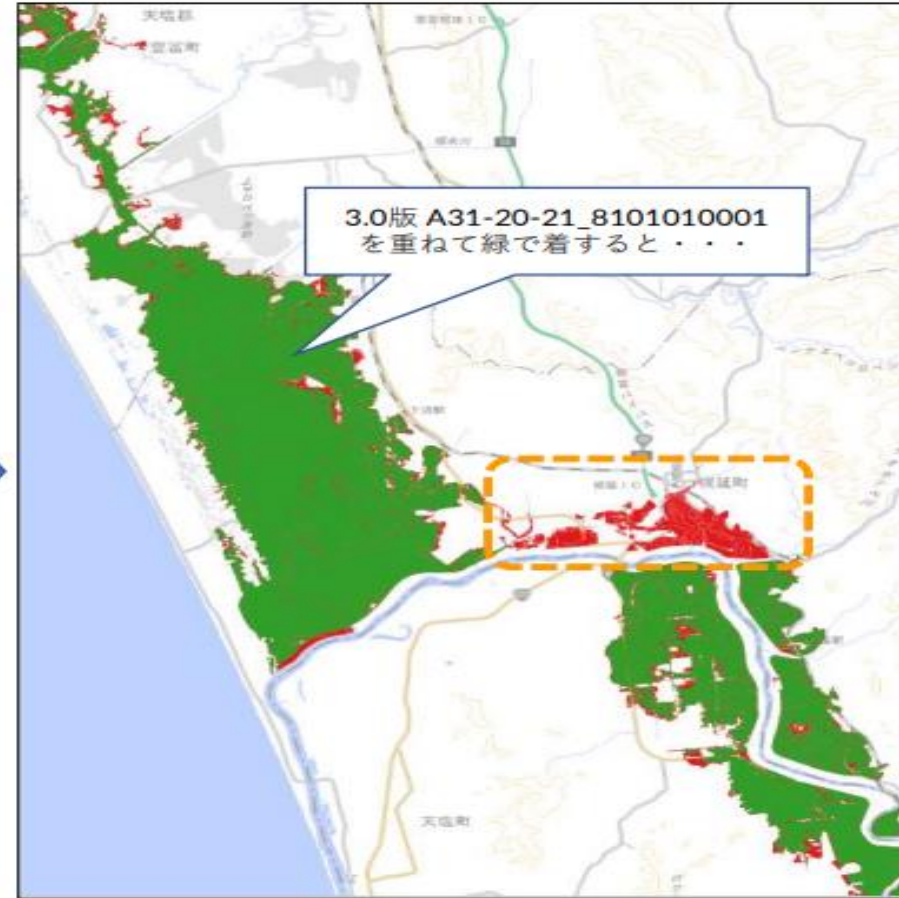
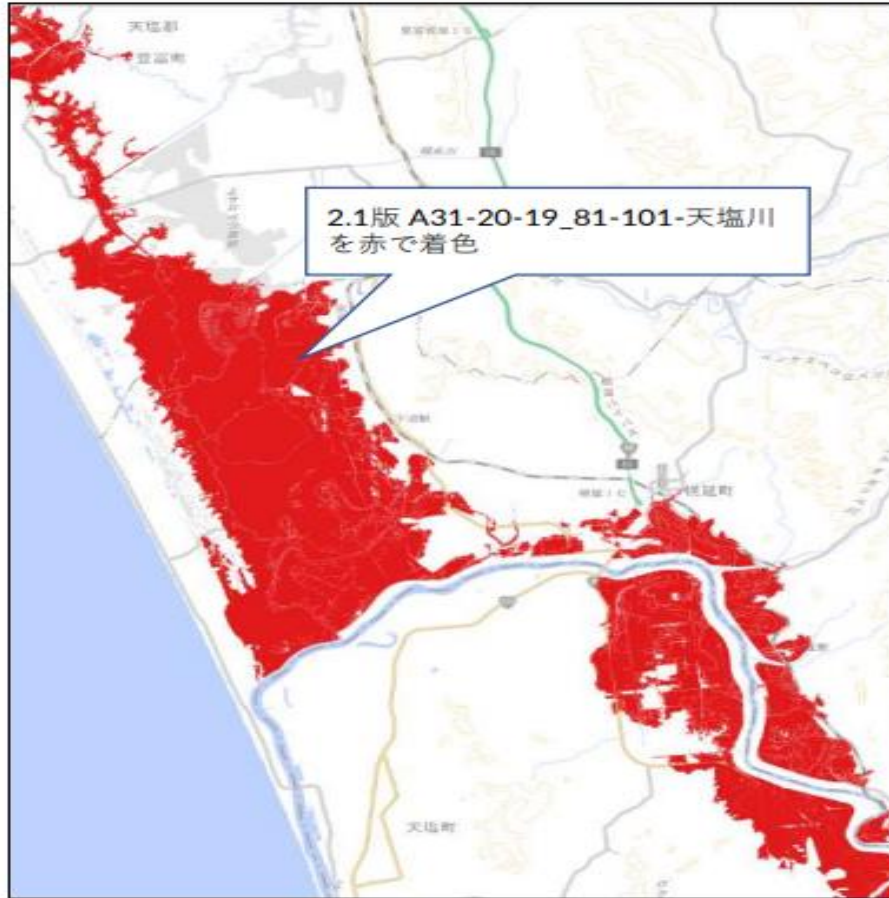
QRコード

QRコード

- ・国土交通省の協力を得て、荒川・多摩川・鶴見川のリーフレットを作成中
- ・リーフレットを河川事務所に配布。河川の啓発施設などで活用する予定
- ・国交省がリーフレットの配布について、流域自治体に周知。活用を目指す
- ・同様の連携を、広島局が中国地方整備局と検討中。協力・フォーマット提供可能

## 天塩川水系

例えば、

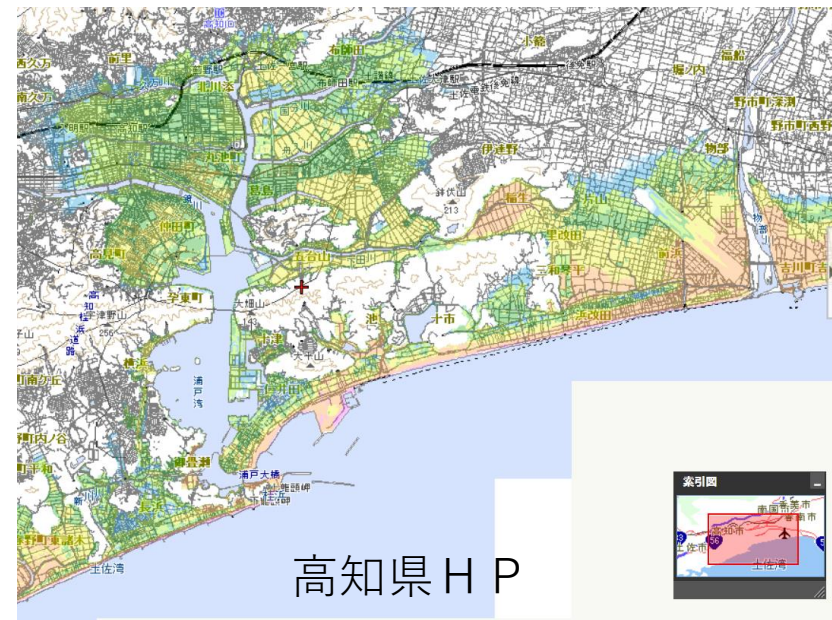


洪水浸水想定区域のデータを描画。前のバージョン(赤)と最新バージョン(緑)で比較。点線で囲んだ部分がなくなっているが、洪水リスクがなくなったのか？データの不備か？

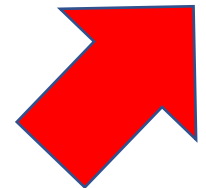
# 津波ハザードマップの課題

★浸水の深さが2つある

南海トラフ特別措置法に基づく



津波防災地域づくりに関する法律に基づく



## 最大浸水深

高知県・徳島県・和歌山県など

高知や和歌山は今後どうするか検討中。

## 基準水位

せり上がりを考慮するので浸水深より深い

北海道など

# 警戒区域が指定されない問題

## 津波災害警戒区域の指定状況

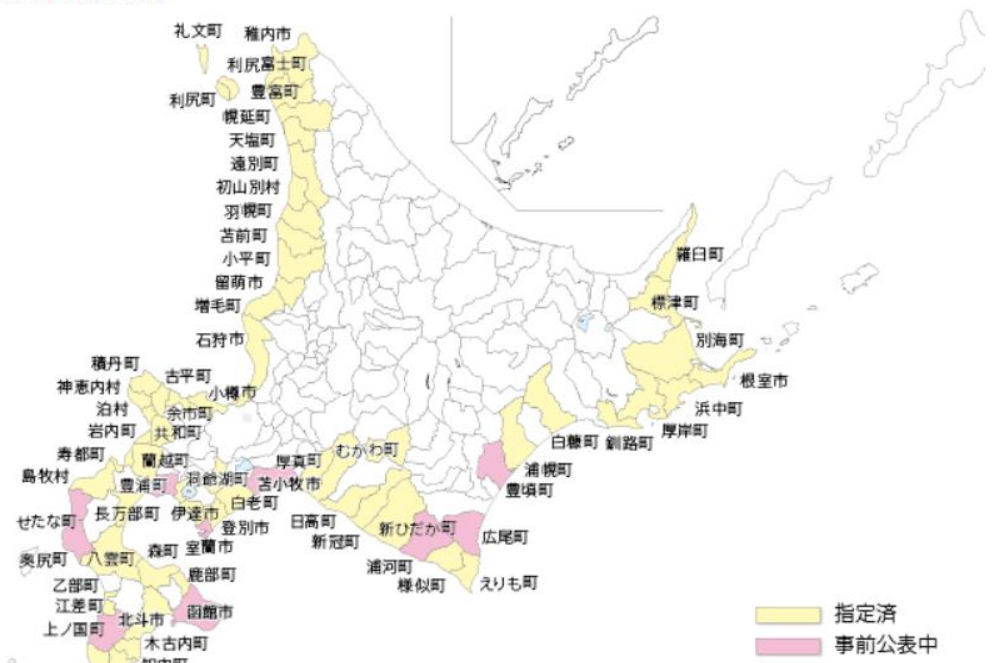
北海道内の津波災害警戒区域の指定状況は以下のとおりです。

### ◆道内の津波災害警戒区域の指定状況◆

(令和4年1月24日現在)

津波災害警戒区域（イエローゾーン）	指 定	53市町村
津波災害警戒区域（案）（イエローゾーン）	事前公表中	9市町村

### ◆道内の指定状況



津波災害警戒区域を指定しない自治体も

ハザードマップで使用する基準水位は警戒区域に指定されると示される

↓

津波による浸水か所を警戒区域に指定するかどうかは市町村の判断による

↓

**市町村が警戒区域を指定しなければハザードマップが作られない**

↓

**全国統一の津波ハザードマップが描けない**



- ▶ 「オープンデータ」のようで、「オープンデータ」になっていない
- ▶ 明らかに間違ったデータが「国土数値情報」で公開されていた→今は？
- ▶ 「履歴（どのデータをどう更新したか）」がよく分からない
- ▶ データが国に届いてから公開までに時間がかかりすぎる（約1年～1年半）
- ▶ データの形式が全国で統一されていない
- ▶ 紙やPDFでしか、公開しない自治体がある
- ▶ 情報公開請求してもデータを公開しない自治体がある
- ▶ 「電子化ガイドライン」が守られていない
- ▶ 国交省内でのデータ管理体制が整っていない（担当ごとに対応）

- ▶河川の区間の見直しが国土数値情報のデータに反映されていない
- ▶データ作成・整理が「業者任せ」になっているのではないか？
  - 国交省・都道府県・市区町村の職員がデータ構造を理解しているか？
- ▶作業量に対して、対応する「体制」が見合っていないのではないか？
  - 治水事業が進むと、当然、浸想区域等も変わる
  - そのたびに、国土地理院・国土数値情報等も対応が必要
  - すでにオープン化しているデータを、常に最新版とする更新も必要

# 民放連の災害放送に関する取り組み

---

日本民間放送連盟  
報道委員会・災害放送対策部会

# 新たな防災情報に関する説明会

## ——「線状降水帯」と「長周期地震動」

2022年4月22日(金) 13:30~16:20

---

報道委員会  
災害放送対策部会

## 【企画意図】

気象庁などが防災に関する情報の充実を図るため、長周期地震動に関する警報や観測情報の発表、線状降水帯による大雨について半日程度前からの呼びかけの開始を予定していることから、会員各社における情報や対応の考え方を共有するため。

---

## 【関係会合】

- 気象庁「防災気象情報の伝え方に関する検討会」

## プログラム

テーマおよび講師
(1) 長周期地震動に関する情報発表開始について 気象庁 地震火山部 地震津波監視課 地震津波防災推進室 調査官 古謝 植之
(2) 線状降水帯の危機感を伝えるために 気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課 地域気象防災推進官 五十嵐 陽子
(3) 「熱中症警戒アラート」の運用開始について 気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課 課長補佐 長田 泰典
(4) 民放事業者の対応について 災害放送対策部会 幹事 福島 隆史 (TBSテレビ・報道局社会部エキスパート職部長) 副幹事 西 浩一郎 (テレビ朝日・報道局ニュースセンター災害担当部長)

## 会員各社への情報提供(最近の例)

- 今出水期から行う防災気象情報の伝え方改善～(国交省水管理・国土保全局／気象庁)
- 「Lアラートの今後の運営に関する説明会」の開催(FMMC)
- Lアラートの見直し／運営移管について(総務省／FMMC)

# Lアラートの取り組みについて

一般財団法人 マルチメディア振興センター  
Foundation for MultiMedia Communications

2022年7月11日



## ■ 都道府県Lアラート担当者研修2022の実施

- 実施日： 4月21日（木）
- 参加都道府県： 40都道府県（2021年度：42都道府県）
- 参加者数（都道府県）：49名（昨年度：58名）
- 研修内容
  - ・ Lアラートサービスの概要
  - ・ Lアラート運用状況・全国合同訓練について
  - ・ 都道府県へのお願い
  - ・ 全体質疑

## ■ Lアラート全国合同訓練2022の実施

- 実施期間 5月25日（水）と26日（木）の2日間  
（秋田県は5月27日（金）実施）
- 参加都道府県： 47都道府県（2021年度：44都道府県）
- 参加組織数：1,789組織（2021年度：1,572組織）  
※内訳：都県、市区町村及びその出先機関
- 訓練情報発信件数：22,093件（2021年度21,033件）

国（海上保安庁）  
ライフライン事業者（67）

- 東西日本電信電話、携帯電話（KDDI,ソフトバンク,沖縄セルラー電話）
- ガス（61）
- 一般財団法人沖縄旅客船協会

（主な内訳）

情報種別	発信件数（昨年度）
避難情報	9,917件（9,373件）
開設避難所	7,205件（6,824件）
被害情報	294件（228件）
災害対策本部設置状況	3,073件（2,873件）
お知らせ、イベント情報	1,604件（1,555件）



一般財団法人

マルチメディア振興センター

**Foundation for MultiMedia Communications**

国土交通省 水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト

# ヤフーの取り組みについて

ヤフー株式会社  
天気・災害サービス

# 防災タイムライン

## 防災速報

- ・ 2011年7月サービススタート
- ・ 自宅、実家、勤務先など、**国内最大3地点**と、位置情報を利用した**現在地**へ通知

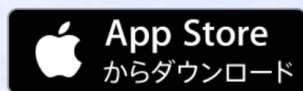
## 災害から命を守る Yahoo!の防災アプリ



ひとりひとりに合った情報をお届け

### Yahoo!防災速報

4000万ダウンロード突破！



iOS12~対応



Android5.0~対応



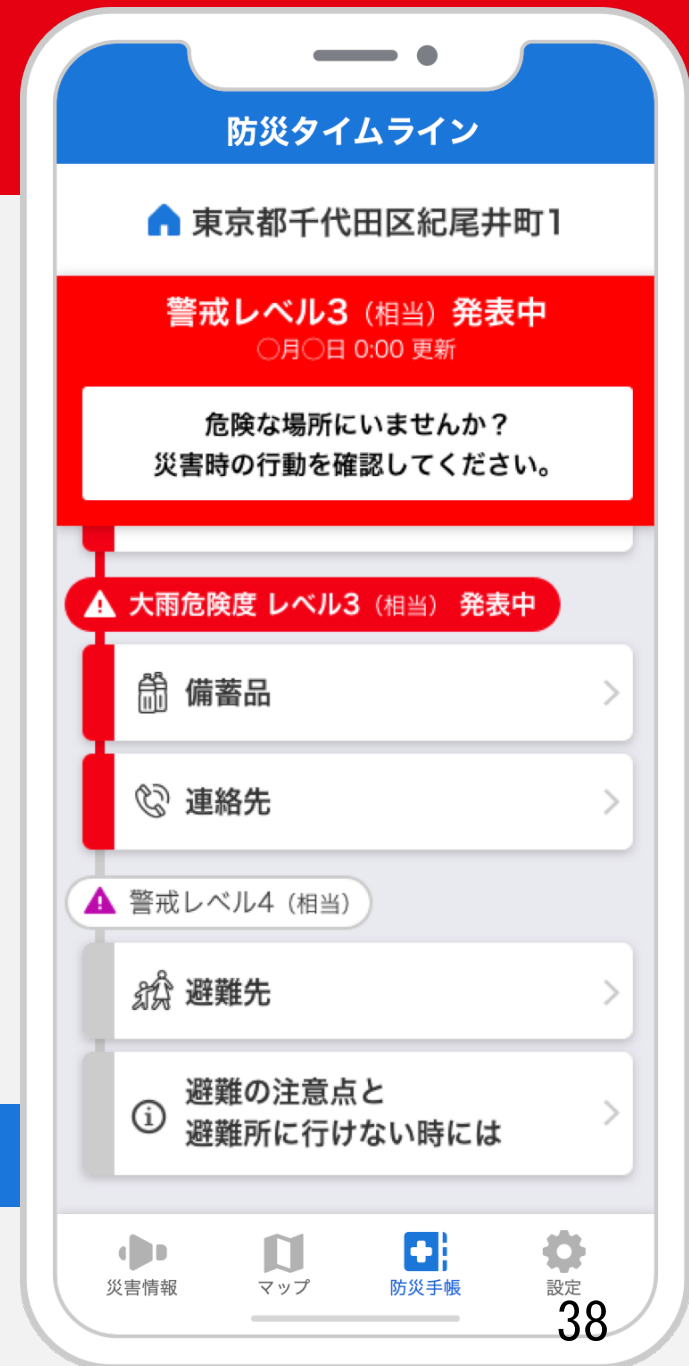
# 防災タイムライン

災害から身を守る

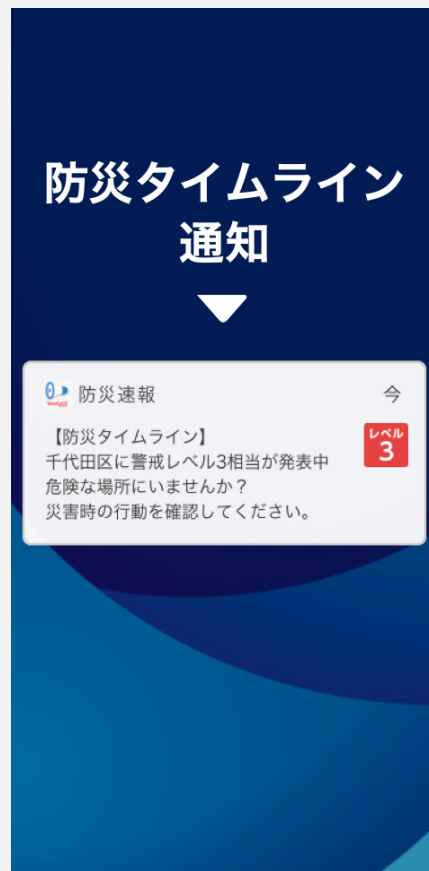
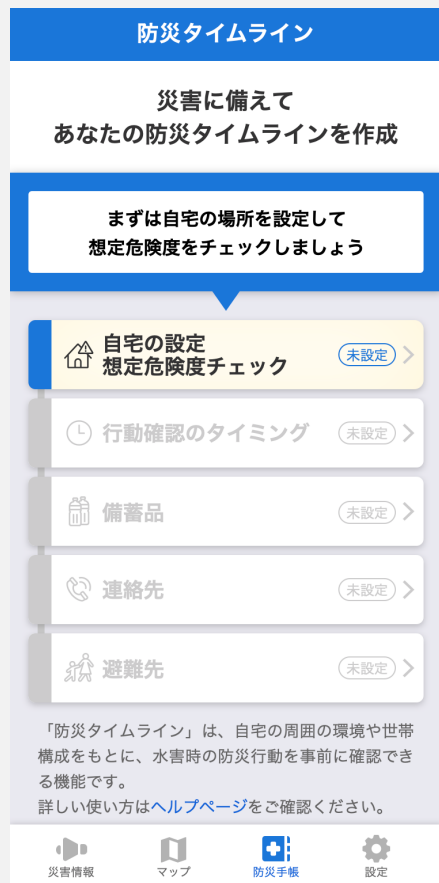
# 防災タイムライン

あなたの防災行動を  
事前に確認・未然にお知らせ

民間企業初「マイ・タイムライン」デジタル版の無償提供



# 防災タイムライン

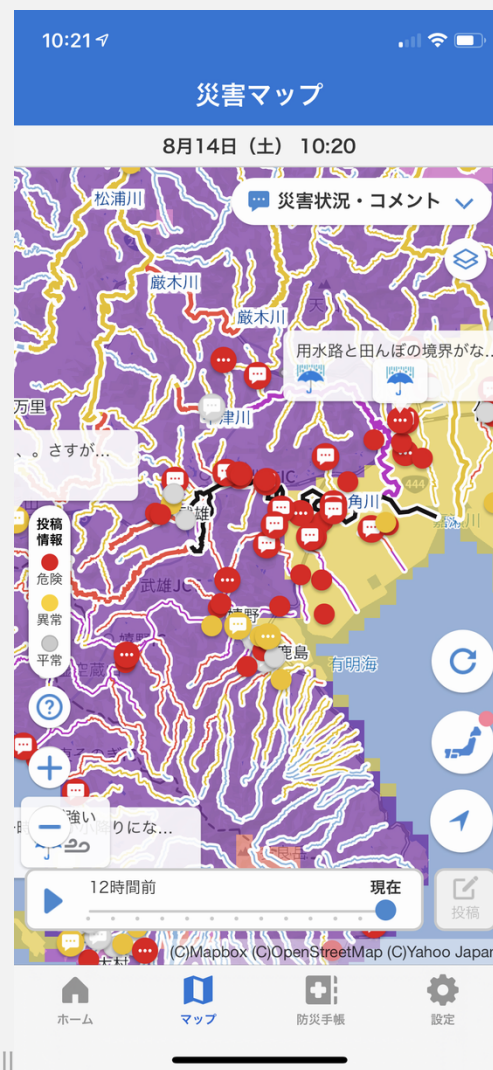
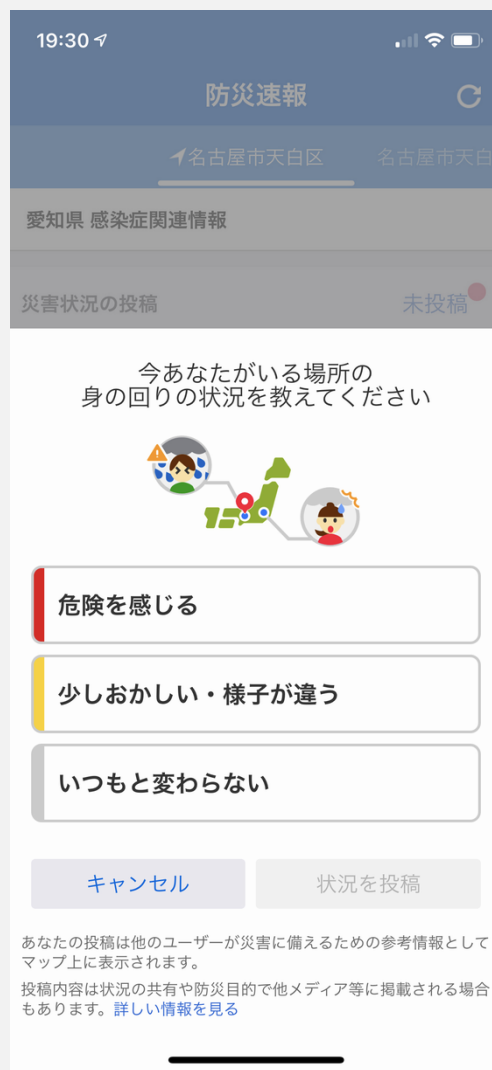


平時 | 防災タイムライン を作成

災害警戒時 | プッシュ通知～防災行動を確認

# 災害マップ：Twitter投稿された災害状況表示

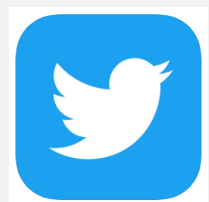
災害マップ：ユーザーによる現在地の災害状況を地図上でリアルタイムに共有できる機能





# 災害マップ：Twitter投稿された災害状況表示

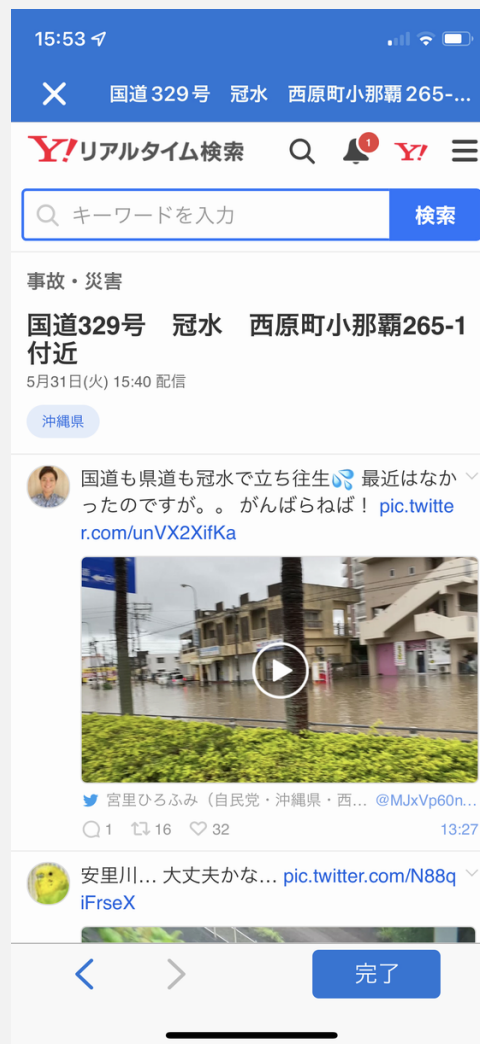
SNS情報も取り込んでマップに掲載



気象災害情報の抽出

災害種別属性の付与

位置情報の付与



# 災害マップ：Twitter投稿された災害状況表示

写真や動画でリアルタイムな現地状況

## 冠水



## 土砂崩れ



## 大雪



## 地震



---

**【国土交通省様 逃げなきやコール認定サービス】**  
**「どこでも災害・避難情報」のサービス提供状況**

---

**NTT  
docomo**

2022年7月11日  
NTTドコモ 災害対策室

# サービス概要

- ドコモで2021年6月にサービス開始した「どこでも災害・避難情報」はあらかじめ登録した地域で、エリアメールが配信された際にSMSでお知らせするサービスです
- 全国に配信された災害・避難情報などをWebページでご確認になれます



# サービスのご利用状況と今後の対応

- 2021年6月のサービス開始以降、**13万人以上の方**にご利用いただいております
- 2022年度には更なるお客様の利便性向上のため、**ユーザインターフェースの改善**を実施する予定です

## 2022年7月現在

### シンプルなリスト表示

全国の配信履歴

● 市区町村名で検索

市区町村名を入力してください

● 都道府県から選ぶ

北海道・東北

北海道

青森県(1)

秋田県

岩手県(1)

山形県

宮城県

福島県(2)

関東・甲信越

東京都

神奈川県

千葉県

埼玉県

茨城県

栃木県

群馬県

山梨県

長野県

新潟県

北陸

富山県

石川県(1)

福井県

## 2022年秋ごろ予定

### 地図を用いた視認性の向上・最新配信時刻の表示

どこでも災害・避難情報

#### 全国の配信履歴

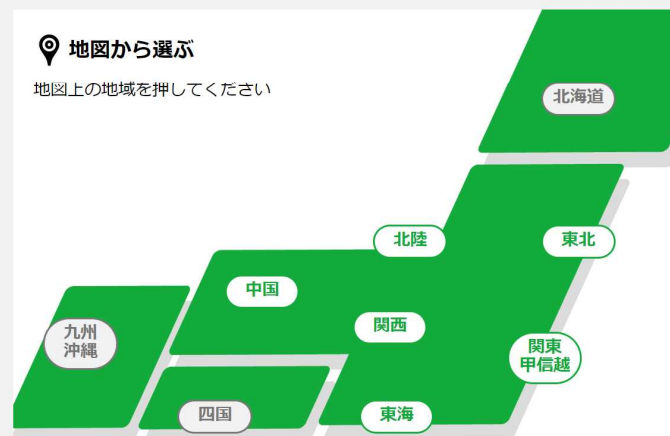
8/14 06:29更新

🔍 市区町村名で検索

市区町村名を入力

📍 地図から選ぶ

地図上の地域を押ししてください



📄 リストから選ぶ

北海道

災害・避難情報はありません

東北

8/14 06:29更新 ▶

関東・甲信越

8/14 06:29更新 ▶

北陸

8/14 06:29更新 ▶

東海

8/14 06:29更新 ▶

関西

8/14 06:29更新 ▶

中国

8/14 06:29更新 ▶

四国


災害・避難情報はありません

九州・沖縄

災害・避難情報はありません

# Appendix

# ご提供条件

サービス名	どこでも災害・避難情報
サービスロゴ	
コーポレートサイト	<a href="https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/docodemo-saigaihinan-joho/">https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/docodemo-saigaihinan-joho/</a>
サービス開始日	2021年6月15日（火） 11時
申し込み	不要 ※「受信エリアの登録」「お知らせSMSの受信」には5G・LTE・FOMAサービスのご契約が必要です ※「全国の配信履歴の確認」はドコモのご契約がない方でもご利用になれます
月額利用料	無料 ※全国の配信履歴の閲覧や受信エリアの登録を行う際にはパケット通信料がかかります
推奨環境	<p>○受信エリアの登録／全国配信履歴の確認</p> <p>■対象機種</p> <p>&lt;iPhone・iPad&gt; iOS 11以上</p> <p>&lt;Androidスマートフォン・タブレット&gt; Android OS 5.1以上の機種</p> <p>■推奨ブラウザ</p> <p>Google Chrome（最新版）、Safari（最新版）、Microsoft Edge（最新版）</p> <p>○お知らせSMSの受信</p> <p>ショートメッセージサービス（SMS）に対応したAndroidスマートフォン・タブレット、iPhone、ドコモケータイ</p>

# 以下、昨年度資料

---



## はじめに


- NTTドコモ（以下、ドコモ）は、事前に登録した地域で緊急速報「エリアメール」が配信された際に、配信対象の地域にいなくても配信があったことをSMSの通知で受け取ることができるサービス「どこでも災害・避難情報」を、2021年6月15日から提供しております
- 本資料では、本サービスの概要についてご説明いたします

# サービス概要

- 「どこでも災害・避難情報」はあらかじめ登録した地域で、エリアメールが配信された際にSMSでお知らせするサービスです
- 全国に配信された災害・避難情報などをWebページでご確認になれます



# ご提供条件

サービス名	どこでも災害・避難情報
サービスロゴ	
コーポレートサイト	<a href="https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/docodemo-saigaihinan-joho/">https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/docodemo-saigaihinan-joho/</a>
サービス開始日	2021年6月15日（火） 11時
申し込み	不要 ※「受信エリアの登録」「お知らせSMSの受信」には5G・LTE・FOMAサービスのご契約が必要です ※「全国の配信履歴の確認」はドコモのご契約がない方でもご利用になれます
月額利用料	無料 ※全国の配信履歴の閲覧や受信エリアの登録を行う際にはパケット通信料がかかります
推奨環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受信エリアの登録／全国配信履歴の確認</li> <li>■対象機種 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;iPhone・iPad&gt;</li> <li>iOS 11以上</li> <li>&lt;Androidスマートフォン・タブレット&gt;</li> <li>Android OS 5.1以上の機種</li> </ul> </li> <li>■推奨ブラウザ <ul style="list-style-type: none"> <li>Google Chrome（最新版）、Safari（最新版）、Microsoft Edge（最新版）</li> </ul> </li> <li>○お知らせSMSの受信 <ul style="list-style-type: none"> <li>ショートメッセージサービス（SMS）に対応したAndroidスマートフォン・タブレット、iPhone、ドコモケータイ</li> </ul> </li> </ul>

# Appendix

# ご利用方法：受信エリアを登録する



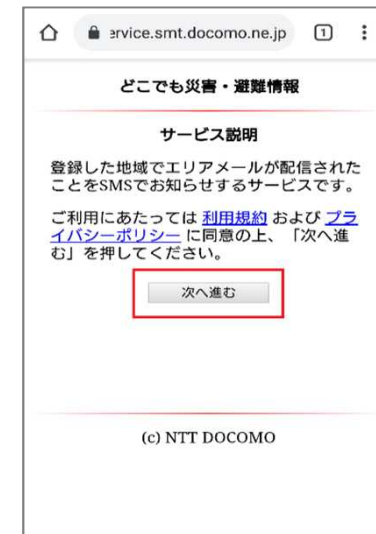
【1】ホーム画面やアプリ一覧にある「災害用キット」をタップ



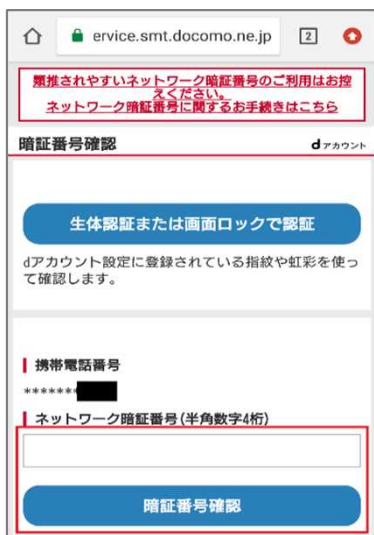
【2】「どこでも災害・避難情報」をタップ



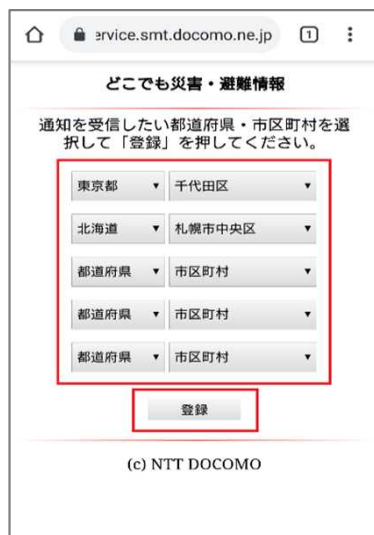
【3】「受信エリア設定」をタップ  
※以降の操作はブラウザ画面です



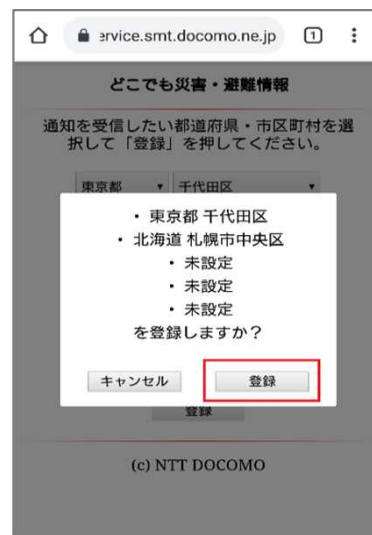
【4】利用規約等を確認し、「次へ進む」をタップ



【5】ネットワーク暗証番号を入力し、「暗証番号確認」をタップ  
※Wi-Fi時はdアカウントでログイン



【6】通知を受信したい都道府県・市区町村を選択し、「登録」をタップ



【7】登録内容を確認し、「登録」をタップ



【8】「OK」をタップ

# ご利用方法：配信履歴を確認する



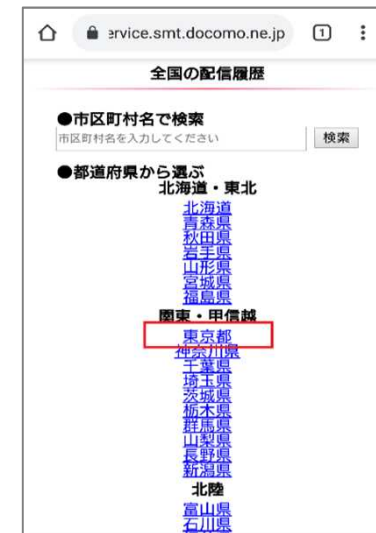
【1】ホーム画面やアプリ一覧にある「災害用キット」をタップ



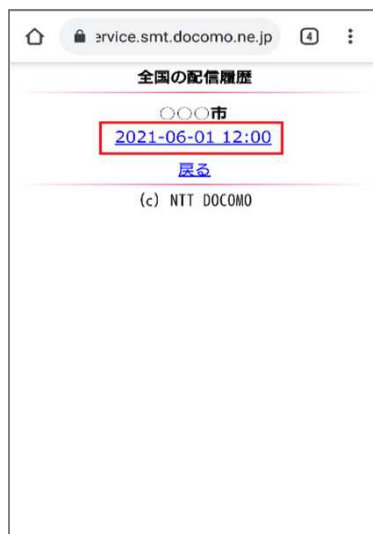
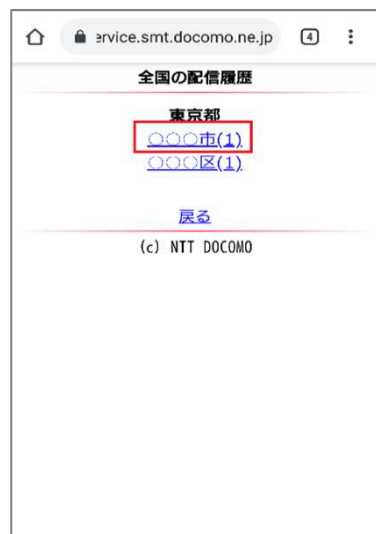
【2】「どこでも災害・避難情報」をタップ



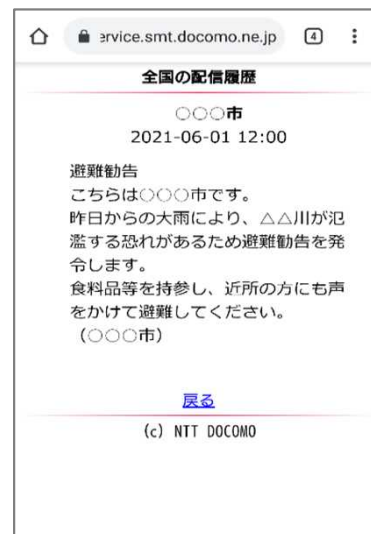
【3】「全国の配信履歴の確認」をタップ  
※以降の操作はブラウザ画面です



【4】配信履歴を確認したい都道府県をタップ



【6】配信履歴を確認したい配信日時をタップ

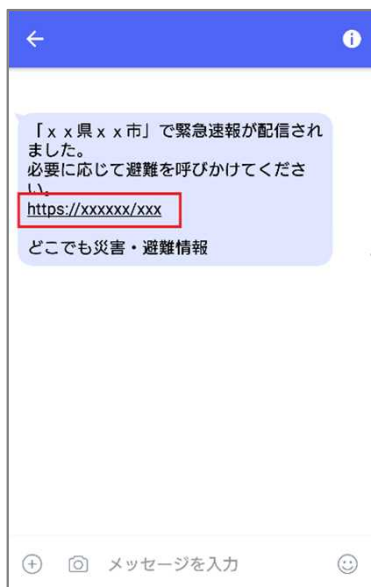


【7】配信内容の詳細を確認できます。

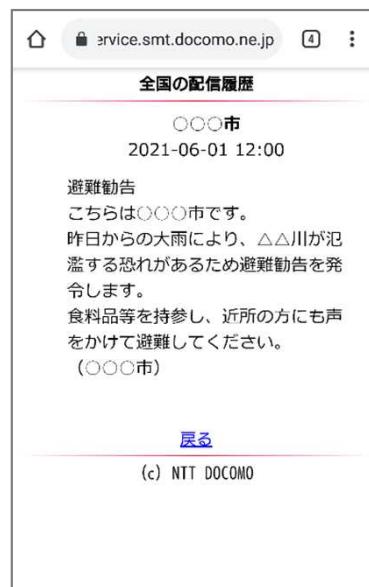
# ご利用方法：お知らせSMSを確認する



事前登録した地域にエリアメールが配信され、お知らせSMSを受信する



【1】SMS内のURLをタップ



【2】ブラウザが起動し配信内容の詳細を確認できます。

いつか、あたりまえになることを。

**NTT**  
**docomo**



# 緊急速報メール

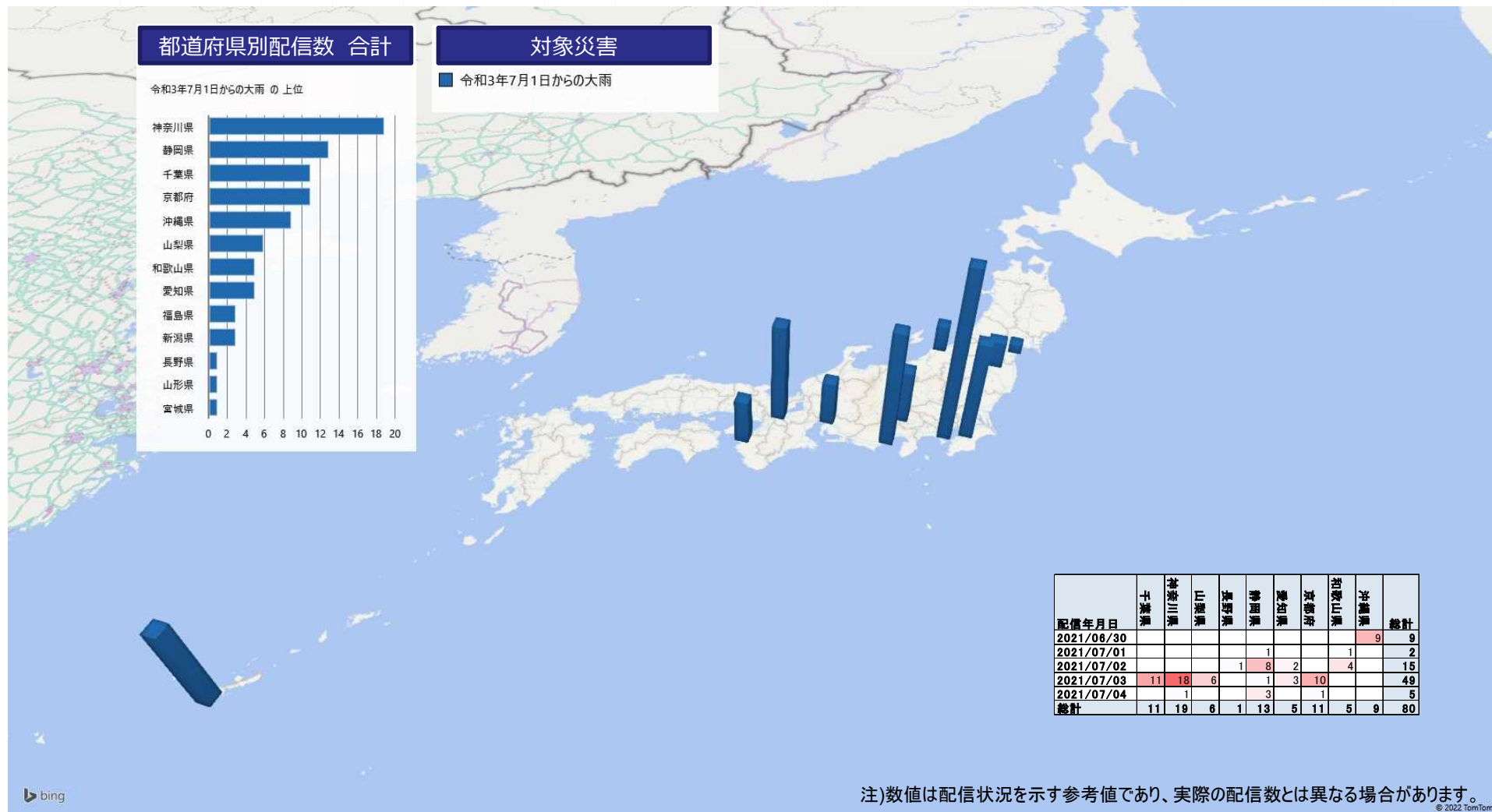
2022.7.11

株式会社NTTドコモ



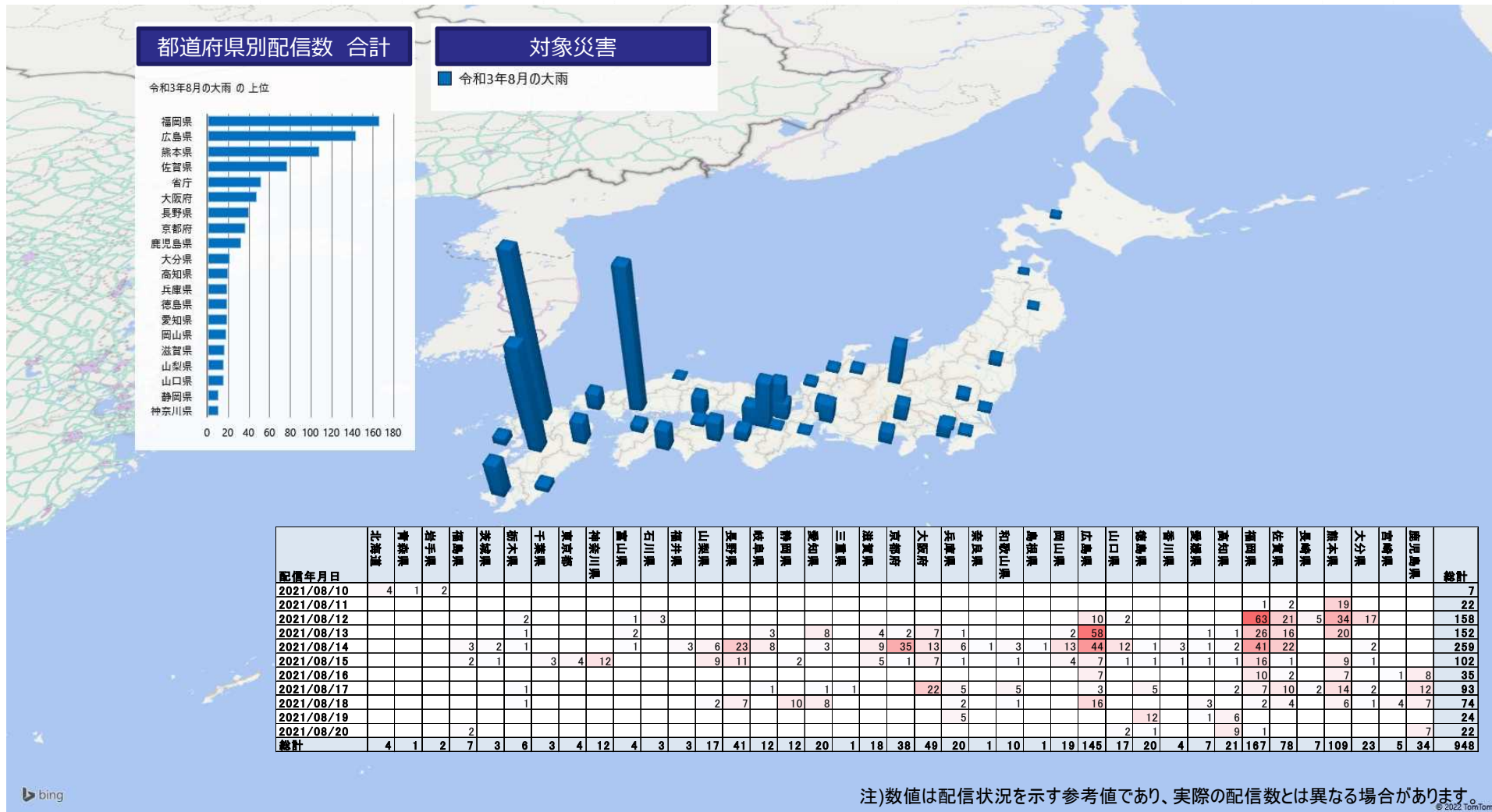
# 緊急速報メールの配信状況（令和3年7月1日からの大雨）

訓練/テスト配信・省庁配信を除く 配信元都道府県・市区町村の災害・避難情報 都道府県別  
データ抽出区間: 2021/6/30~7/4



# 緊急速報メールの配信状況（令和3年8月の大雨）

訓練/テスト配信・省庁配信を除く 配信元都道府県・市区町村の災害・避難情報 都道府県別  
データ抽出区間：2021/8/10~20



注)数値は配信状況を示す参考値であり、実際の配信数とは異なる場合があります。



以上

## 市防災訓練において11の地域コミュニティから参加協力

防災訓練において、10か所の避難所開設受け入れ訓練を実施し、11の地域コミュニティ組織が避難者として訓練に協力。



- ① 実災害時を想定し、避難情報(高齢者等避難・避難指示)発令後に避難行動を開始
- ② アンケートにより、避難情報の受け取り方法、自宅から避難所への移動時間を集計



今後地域コミュニティと協力し、避難所の開設や運営の訓練を実施する。

【訓練】警戒レベル4 避難指示発令

From: 見附市役所

2022年6月12日 9:10

【訓練】危険な場所から全員避難

見附市から発令  
発令時刻：6月12日午前9時10分  
対象地域：見附市全域  
理由：大雨により刈谷田川が氾濫の恐れ高い

行動要請：今すぐ安全な場所へ避難  
安全な親戚・知人宅等、ハザードマップで安全を確認できれば自宅2階への避難も検討

避難所開設・混雑状況  
<https://vacan.com/area/mitsuke-city- evacuation/evacuation-center/12>

避難情報の受け取り方		自宅からの移動時間	
緊急情報メール	110	11～20分	11
サイレン	21	21～30分	5
緊急速報メール	11	5～10分	70
その他	5	5分未満	63
未回答	2	未回答	1
市役所HP	1	計	150
計	150		

訓練参加者アンケートの集計



避難受付の様子(R4.6.12)

避難情報の伝達訓練

→市の防災訓練で配信(R4.6.12)

見附市内にある小・中・特別支援学校全13校が防災スクールに取り組



## 【中学校】

マイ・タイムラインの作成に取り組み、防災意識を高めるとともに、災害への心構えを持つことが出来た。

## 【小学校・特別支援学校】

過去の災害の被害を調べ、災害の実体験を聞くことに加え、保護者も参加することで、家族で防災意識を高めることが出来た。

## ■ 防災学習(例)

マイ・タイムラインの作成  
避難所設営体験  
保護者への引き渡し訓練  
防災グッズづくり

## ■ 地域の協力

自主防災組織が講師となり災害時の体験や防災用具使用体験を実施



LINE